

キッズサイエンス

レーズンがコップの中で浮いたり沈んだり

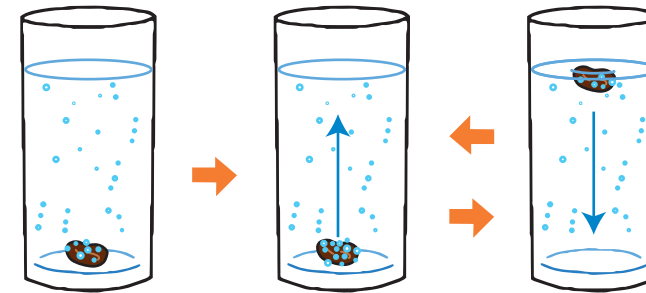
ブドウを乾燥させてつくられたレーズンを水に入れると、下に沈みます。このレーズンを浮いたり沈んだりさせる実験をしてみよう!

宮本 一弘
(開成中学校・高等学校)

実験は必ず大人と一緒に行ってください。

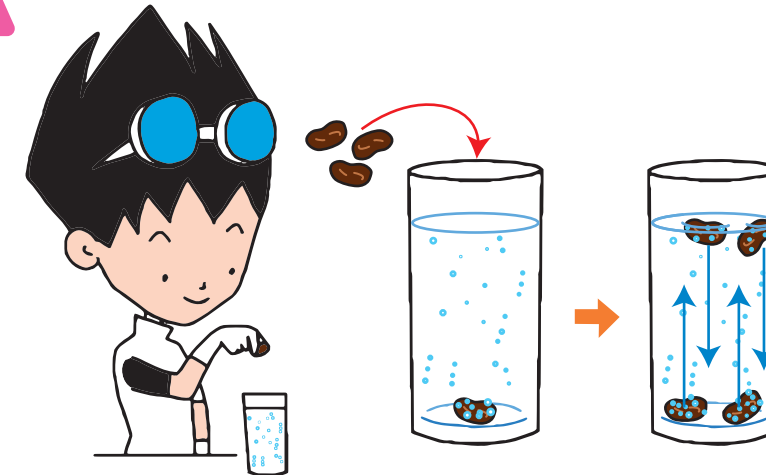
しばらくコップの中を観察する

レーズンが浮いたり沈んだりしてる...



さらにレーズンを入れて観察する

レーズンが浮いたり沈んだりしておもしろい...

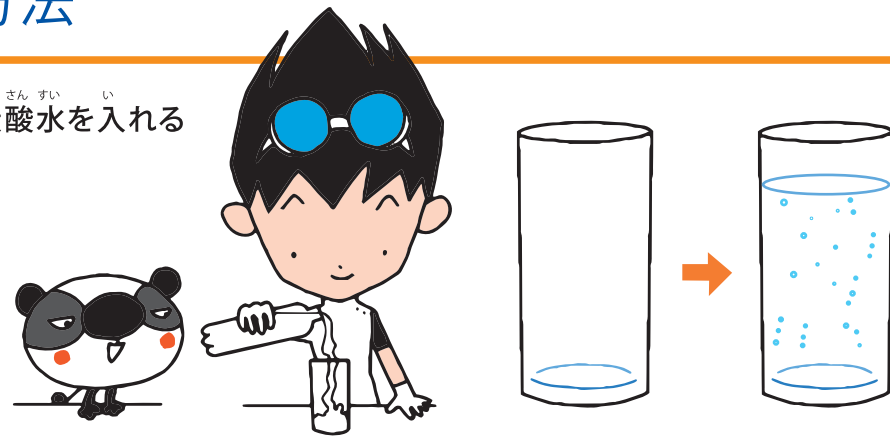


準備するもの

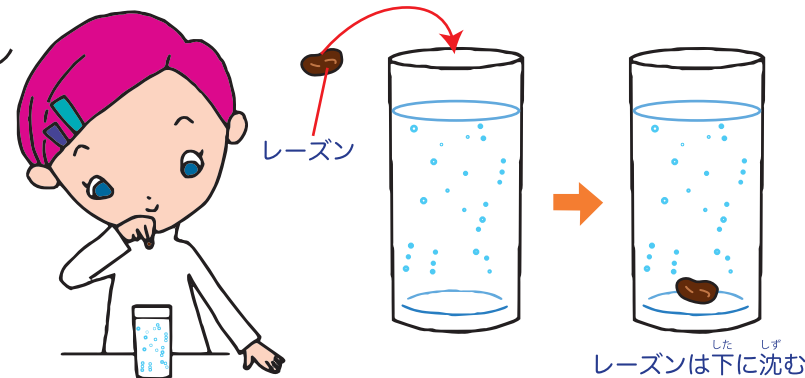


実験方法

1 コップに炭酸水を入れる



2 のコップにレーズン1粒を入れる



実験の解説

レーズンはブドウを乾燥させたもので、干しぶドウともいいます。このレーズンを水に入れると、レーズンは水よりも重いので沈みます。この実験では、水ではなく炭酸水を使います。炭酸水は、水に気体の二酸化炭素を溶かしたものです。コップに入った炭酸水を見ると、たくさんの二酸化炭素の気泡が見られます。レーズンを炭酸水に入れると、最初は沈んでいきますが、レーズンの周りに気泡がたくさんついてきて、しばらくすると浮いてきます。これは周りについた気泡のために浮力が働き浮かんだのです。また、しばらくすると浮いたレーズンの周りについた気泡がとれ、今度は沈んでいきます。これを繰り返して、レーズンが浮いたり沈んだりするのです。



デザイン・イラスト ビューンワークス